

整理番号	30	作成日	平成 18 年 6 月 20 日
事業名	親水緑道整備（東井堀親水緑道）		
所属名	土木部 街路橋梁課 事業推進係	電話番号	(03) 5662-8423 (直通)

事業の目的・概要・対象者等	《事業の目的及び概要》	《事業の開始年度》	平成元年度
	下水道普及に伴い、旧河川・用水路の水辺を活かした景観整備により、都市景観の向上、地域コミュニティの創出を目的とします。 【概要】 比較的小規模な旧河川・用水路について、 <u>ピオトップ</u> 思想を参考に人や動植物にやさしい水辺空間をネットワーク化していきます。なお、旧河川・用水路が併設されている幅員が比較的大きいものについては、「親水公園」として整備しており、5路線約9.6kmが完成済みです。 （注釈）ピオトップ：Bio（生き物）とTop（場所）の合成語（合成語）で「それぞれの地域の、野生の生き物の生息空間」を意味します。 【平成18年4月現在】		
	親水緑道の計画整備延長	・全体計画 = 18路線・17,680m ・完成路線 = 16路線・16,780m	《東井堀親水緑道》一部完成路線 ・完成区間延長 = 1,300m ・未整備区間延長 = 500m

活動指標	活動指標	路線整備延長	活動指標	住民との会合回数					
	16~18年度	<table border="1"> <tr> <th>(16年度)</th> <th>(17~18年度)</th> </tr> <tr> <td colspan="2">500m</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>施工</td> </tr> </table>	(16年度)	(17~18年度)	500m		設計	施工	16~17年度
(16年度)	(17~18年度)								
500m									
設計	施工								

成果・目標指標	成果・目標指標	親水緑道整備率	(その他の成果)
	17年	95.0%	20年度目標

一部完成路線である東井堀（南篠崎町1,2丁目）が18年度に整備完了予定であり、区全体整備率は約98%となります。
 19年度以降の未完成路線は本郷用水を残すのみとなりますが、本郷用水（篠崎町1,2丁目）は東京都施行の土地区画整理事業完了（29年度予定）後に整備可能となります。

（注釈）アダプト制度による植栽の手入れ：
 街路樹の植込みに好きな草花を植えていただける代わりに日常管理（清掃・手入れ）をしていただく制度。

経費の概要	本件に係る事業実施経費（16~18年度）	262,489千円	経費の説明
	内訳	このうち、100,000千円（約38%）は、国からの特定事業に対する交付金（まちづくり交付金）を受けています。 なお、区負担分に関しては、人件費及び事務費以外は財政調整交付金として全額歳入されます。	

【人件費と担当職員数】

ア 常勤職員	3.0人
イ 非常勤職員	0.0人
ウ 臨時職員	0.0人

24,978千円

・設計委託費：7,224千円（16年度）
 ・整備費：230,287千円（17年度=60,287千円、18年度=170,000千円）
 ・人件費：3名（設計2名×1/2+工事2名）設計担当者を1名とし、設計委託のチェック等に1名が6ヶ月稼働したものとしました。
 また、工事担当者（施工管理等）2名が6ヶ月を2年にわたり稼働（延べ1年間）しました。

その他	《実施の根拠となる法令等》
	・江戸川区水辺環境基本計画（平成元年策定） ・江戸川区街づくり基本プラン（平成11年策定） ・江戸川区水と緑の行動指針（平成14年策定）
	《民間委託やボランティアなどとの協働の状況》
	・整備の基本的な考え方は、区の整備方針により進めるのではなく、沿道住民と意見交換を重ねることで総意を得て行いました。

平成18年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	30	事業名	親水緑道整備（東井堀親水緑道）
------	----	-----	-----------------

所属名	土木部 街路橋梁課 事業推進係
-----	-----------------

所管課長評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。	5					
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。				2		
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	5					
4	成果が上がっている。	5					
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。		4				
6	受益者負担の額は適切である。		4				
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。	5					
8	民間事業者への委託等の可能性がある。			3			
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。	5					
10	経費を削減できる可能性がある。		4				

所管部長の意見等

親水河川は、地域住民と今日的な水辺の創造により新たな都市景観価値を見出すものであると同時に、先人の歴史・文化的な要素を持つ重要なシンボルである。
 本路線は18年度の完成予定であるが、残りの路線（本郷親水緑道）も含め、引き続き推進していくことが必要である。

平成18年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	30	事業名	親水緑道整備（東井堀親水緑道）
------	----	-----	-----------------

所属名	土木部 街路橋梁課 事業推進係
-----	-----------------

外部評価委員評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。	5					
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。			3			
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		4				
4	成果が上がっている。		4				
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。		4				
6	受益者負担の額は適切である。		4				
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。		4				
8	民間事業者への委託等の可能性がある。		4				
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。			3			
10	経費を削減できる可能性がある。			3			

外部評価委員の意見

親水公園は、水辺の生き物にとっても、人間にとっても、いい場所であり、心も体も「ほっ」とする空間です。今後も維持管理等をしっかりと行ってほしい。
魅力的な事業である。
整備後の維持管理については、ボランティアなどの活用が期待できる。

評価欄の数字は、各項目の評価点です。